



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月24日

上場会社名 神奈川中央交通株式会社  
 コード番号 9081 URL <https://www.kanachu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀 康紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略部IR担当課長 (氏名) 村山 大輔  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年11月22日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0463- 22- 8894

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	50,091	4.2	2,520	534.1	2,720	135.0	1,937	182.8
2022年3月期第2四半期	48,058	14.1	397		1,157		685	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,332百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 489百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	157.90	
2022年3月期第2四半期	55.84	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	147,737	54,244	33.6
2022年3月期	146,906	53,160	33.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 49,688百万円 2022年3月期 48,741百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		20.00	40.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,600	2.9	4,780	373.8	4,750	83.6	3,690	100.7	300.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	12,600,000 株	2022年3月期	12,600,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	328,335 株	2022年3月期	328,243 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	12,271,724 株	2022年3月期2Q	12,271,957 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、持ち直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢の長期化や資源価格高騰に伴う物価の上昇、急激な円安など先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ各社は、各部門において積極的な営業施策を図るとともに、経営の効率化に努めた結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、50,091百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は2,520百万円（前年同期比534.1%増）、経常利益は2,720百万円（前年同期比135.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,937百万円（前年同期比182.8%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### (一般旅客自動車運送事業)

乗合事業においては、4月に東海大学湘南キャンパスの通学需要増に伴い、平塚駅北口～東海大学1号館前～東海大学前駅南口間の直行便の運行を開始し、学生の利便性向上を図りました。また、7月に藤沢市内の商業施設「湘南T-SITE」を利用したお客さまへ、施設周辺バス停と藤沢駅、辻堂駅間の路線バスを往復で利用できるデジタルチケットの発行を開始し、利用促進を図りました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大により厳しい状況が続いていた旅客需要に一部回復が見られたことに加え、前期に開始した東京ディズニーリゾート®線において利用者数の動向に応じ繁忙期に増便対応を行うなど収入確保に努めたことなどにより増収となりました。

乗用事業においては、神奈中タクシー(株)にて新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、飲食店等の営業時間が延長されたことで夜間を中心に旅客需要の回復が見られたことにより増収となりました。

貸切事業においては、神奈中観光(株)にて学生団体などの需要に回復が見られたことなどにより増収となりました。

以上の結果、一般旅客自動車運送事業全体の売上高は24,794百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は397百万円（前年同期は営業損失1,989百万円）となりました。

#### (不動産事業)

賃貸事業においては、「相模原中央ビル」における新規テナントの獲得に伴い、稼働率が上昇したことにより増収となりました。

分譲事業においては、デベロッパーとのマンション分譲共同事業による藤沢市羽鳥の「プレミスト湘南辻堂」ならびに横浜市泉区の宅地分譲を完売しましたが、新規分譲計画戸数の減少により減収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は3,057百万円（前年同期比18.9%減）、営業利益は1,415百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

#### (自動車販売事業)

商用車販売事業においては、神奈川三菱ふそう自動車販売(株)にて半導体不足の影響に伴うメーカーの減産によりトラック販売台数が減少したことなどにより減収となりました。

輸入車販売事業においては、神奈中相模ヤナセ(株)にて半導体不足の影響により新車販売台数が減少しましたが、中古車販売が好調に推移したことなどにより増収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は12,726百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は483百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

#### (その他の事業)

流通事業においては、(株)神奈中商事にて軽油の販売単価が上昇したことに加え、自動車部品の販売が増加したことなどにより増収となりました。

資源活生事業においては、(株)アドベルにて前期に開業したペットボトルリサイクル施設「小山マテリアルリサイクルセンター」が通期寄与したことなどにより増収となりました。

レジャー・スポーツ事業においては、(株)神奈中スポーツデザインにて前年同期に時短営業を実施していた温浴施設における利用客の反動増に加え、前期に開業した神奈中スイミング本厚木校にて新規会員の獲得を図ったことにより会員数が増加し増収となりました。

商用車架装事業においては、横浜車輛工業(株)にてメーカーにおける商用車の供給不足に伴い受注が減少したことなどにより減収となりました。

飲食・娯楽事業においては、前期に開店した「箱根そばイトーヨーカドー立場店」が通期寄与したほか、「ドトールコーヒESHOP」の新規出店や営業譲受などにより増収となりました。

ホテル事業においては、宿泊部門において団体利用が増加し、稼働率が上昇したことに加え、料飲部門において外食需要に回復が見られたことなどにより増収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は13,423百万円（前年同期比8.0%増）となりましたが、資源価格の高騰などによる原価増により、営業利益は278百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の変動状況

総資産は、投資有価証券の時価評価額が減少したものの、商品及び製品が増加したことなどにより、前期末に比べて830百万円増加し、147,737百万円となりました。

負債は、借入金の返済が進んだことなどにより、前期末に比べて253百万円減少し、93,493百万円となりました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金が減少しましたが、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べて1,084百万円増加し、54,244百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,683百万円に減価償却費などを加減した結果、5,384百万円の資金収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出3,657百万円などにより、3,658百万円の資金支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による支出などにより、1,789百万円の資金支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べて63百万円減少し、3,341百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることから、現時点において2022年4月27日発表の数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,604	3,541
受取手形、売掛金及び契約資産	7,910	8,352
商品及び製品	3,509	5,006
仕掛品	62	71
原材料及び貯蔵品	464	607
その他	2,914	2,648
貸倒引当金	△34	△29
流動資産合計	18,431	20,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	90,744	91,333
車両運搬具	39,921	39,846
土地	62,072	64,023
その他	23,608	23,979
減価償却累計額	△107,799	△110,229
有形固定資産合計	108,547	108,952
無形固定資産	840	862
投資その他の資産		
投資有価証券	15,921	15,093
その他	3,171	2,642
貸倒引当金	△6	△12
投資その他の資産合計	19,086	17,723
固定資産合計	128,475	127,538
資産合計	146,906	147,737
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,479	6,118
短期借入金	10,220	12,048
未払法人税等	643	579
賞与引当金	1,972	1,719
その他	13,732	15,380
流動負債合計	32,047	35,846
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	21,423	18,847
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	3,878	3,828
その他	16,393	14,968
固定負債合計	61,698	57,646
負債合計	93,746	93,493

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,160	3,160
資本剰余金	723	723
利益剰余金	40,771	42,463
自己株式	△937	△938
株主資本合計	43,717	45,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,601	4,035
繰延ヘッジ損益	311	142
退職給付に係る調整累計額	109	100
その他の包括利益累計額合計	5,023	4,278
非支配株主持分	4,419	4,556
純資産合計	53,160	54,244
負債純資産合計	146,906	147,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高		
一般旅客自動車運送事業営業収益	22,138	24,691
不動産事業売上高	3,760	3,055
その他の事業売上高	22,159	22,344
売上高合計	48,058	50,091
売上原価		
一般旅客自動車運送事業運送費	21,694	21,731
不動産事業売上原価	1,754	1,270
その他の事業売上原価	17,825	18,066
売上原価合計	41,274	41,068
売上総利益	6,783	9,023
販売費及び一般管理費		
販売費	4,204	4,279
一般管理費	2,181	2,223
販売費及び一般管理費合計	6,386	6,502
営業利益	397	2,520
営業外収益		
受取配当金	164	176
助成金収入	739	145
その他	75	93
営業外収益合計	979	416
営業外費用		
支払利息	180	171
その他	38	44
営業外費用合計	219	215
経常利益	1,157	2,720
特別利益		
固定資産売却益	105	2
補助金収入	80	—
受取補償金	71	0
特別利益合計	258	3
特別損失		
固定資産除却損	149	29
固定資産圧縮損	79	—
減損損失	28	10
その他	17	1
特別損失合計	275	41
税金等調整前四半期純利益	1,140	2,683
法人税、住民税及び事業税	366	582
法人税等調整額	△76	29
法人税等合計	289	612
四半期純利益	851	2,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	166	132
親会社株主に帰属する四半期純利益	685	1,937



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	851	2,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,440	△560
繰延ヘッジ損益	102	△168
退職給付に係る調整額	△4	△8
その他の包括利益合計	△1,341	△738
四半期包括利益	△489	1,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△667	1,192
非支配株主に係る四半期包括利益	177	139

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,140	2,683
減価償却費	3,297	3,012
賞与引当金の増減額(△は減少)	△312	△252
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△80	△57
受取利息及び受取配当金	△166	△177
支払利息	180	171
持分法による投資損益(△は益)	11	20
固定資産除売却損益(△は益)	△52	△0
固定資産圧縮損	79	—
売上債権の増減額(△は増加)	784	△442
棚卸資産の増減額(△は増加)	377	△1,616
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,650	639
未払消費税等の増減額(△は減少)	769	△497
預り保証金の増減額(△は減少)	△93	△102
その他	2,490	2,558
小計	6,767	5,939
利息及び配当金の受取額	174	184
利息の支払額	△159	△150
保険金の受取額	473	—
法人税等の支払額	△330	△588
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,924	5,384
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△100	△100
定期預金の払戻による収入	100	100
固定資産の取得による支出	△3,527	△3,657
固定資産の売却による収入	347	2
資産除去債務の履行による支出	△23	—
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	1	—
投資有価証券の償還による収入	—	2
短期貸付けによる支出	△2	△2
短期貸付金の回収による収入	0	—
長期貸付けによる支出	△1	△1
長期貸付金の回収による収入	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,206	△3,658
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,107	1,606
リース債務の返済による支出	△833	△792
長期借入れによる収入	3,600	—
長期借入金の返済による支出	△1,399	△2,354
自己株式の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△37	—
配当金の支払額	△244	△245
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,026	△1,789
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,691	△63
現金及び現金同等物の期首残高	2,614	3,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,306	3,341

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	一般旅客 自動車 運送事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	22,138	3,760	12,891	9,267	48,058	—	48,058
セグメント間の内部 売上高又は振替高	101	8	248	3,165	3,523	△3,523	—
計	22,240	3,768	13,139	12,432	51,581	△3,523	48,058
セグメント利益又は損 失(△)	△1,989	1,574	544	333	462	△65	397

(注)「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食・娯楽事業、ホテル事業等を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他の 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	一般旅客 自動車 運送事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	24,691	3,055	12,416	9,928	50,091	—	50,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	102	2	310	3,494	3,910	△3,910	—
計	24,794	3,057	12,726	13,423	54,001	△3,910	50,091
セグメント利益	397	1,415	483	278	2,575	△54	2,520

(注)「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食・娯楽事業、ホテル事業等を含んでおります。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方)

前連結会計年度の有価証券報告書における「(重要な会計上の見積り)」に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。